

宮城県「体験の風をおこそう」運動推進事業

「第13回 花山雪っこまつり」

1. 趣旨

冬のイベントとして地域の活性化に寄与することを目的に開催される「花山雪っこまつり」において、実行委員会と連携・協力しながら自然の家の教育資源を活用した子どもたちの体験活動の振興を図る活動を提供することにより、「体験の風をおこそう」運動推進の一助とする。

2. 主催 宮城県「体験の風をおこそう」運動推進委員会

(事務局：国立青少年教育振興機構 国立花山青少年自然の家)

3. 共催 花山雪っこまつり実行委員会

4. 事業概要

(1) 期日 平成30年2月10日(土)～2月11日(日)〔1泊2日〕

(2) 参加者

①参加対象 宮城県内のスポーツ少年団員、指導者、保護者

②参加人数 607名 {宿泊：309名、日帰り：298名}

5. 企画運営のポイント

①宮城県内の子どもと保護者が雪の活動を通して交流を深めるよう、栗原市花山地域の関係団体と連携しながら事業を展開する。

②雪に関するプログラムの企画・運営は、地域の人材を最大限に活かして実施する。

6. 日程

	2月10日(土)	2月11日(日)
午前	9:30 受付 10:00 開会式 10:15 ・雪上ドッジビー大会 ・ストラックアウト ・そり滑り ・歩くスキー	7:15 朝食 9:30 開会式 9:45 ・雪上ドッジビー大会 ・ストラックアウト ・そり滑り ・歩くスキー
午後	13:00 ・雪上ドッジビー大会 ・ストラックアウト ・そり滑り ・綱引き ・歩くスキー 15:00 アクティビティ終了 17:00 オリエンテーション	13:00 ・ストラックアウト ・そり滑り ・綱引き ・歩くスキー 14:15 閉会式
夜	17:15 夕食 18:15 はなやま遊びリンピック ・割りばしダーツ ・空き缶積み ・スカットボール	

7. 主な活動内容



雪上ドッジビー



雪上綱引き



空き缶積み



歩くスキー体験



割りばしダーツ

8. 成果と課題

(1) 参加者アンケート結果

満足：100% やや満足：0% やや不満：0% 不満：0%

(2) 参加者の声

- 雪不足でスノーモービルが中止になって残念だったが、雪上ドッジビー大会や歩くスキーができて楽しかった。
- 遊びリンピックは、大人と子どもが一緒になって楽しめて良かった。
- 子どもも大人も他のチームと交流しながら楽しい時間を過ごせてよかった。

(3) 成果

- 花山地域の関係団体の協力のもと運営がとても円滑に行われ、事故なく楽しい時間を過ごすことができた。
- スポーツマネジメント実習として関わった仙台大学の学生にとっては、実体験をもとに企画運営について学ぶことができる貴重な経験となった。
- 雪不足のため「スノーモービル体験」は中止となったが、参加者は、それ以外のアクティビティで十分楽しい思い出を作ることができたと感じた。
- 「雪っこまつり」に参加したことにより、独自で花山青少年自然の家を利用しながら体験活動を推進する団体が増えてきた。

(4) 課題

雪不足によりスノーモービル体験ができない状況が3年間続いてしまったので、プログラムの変更策を実行委員会にて検討していく必要がある。

担当：主任企画指導専門職 狩野 浩二